

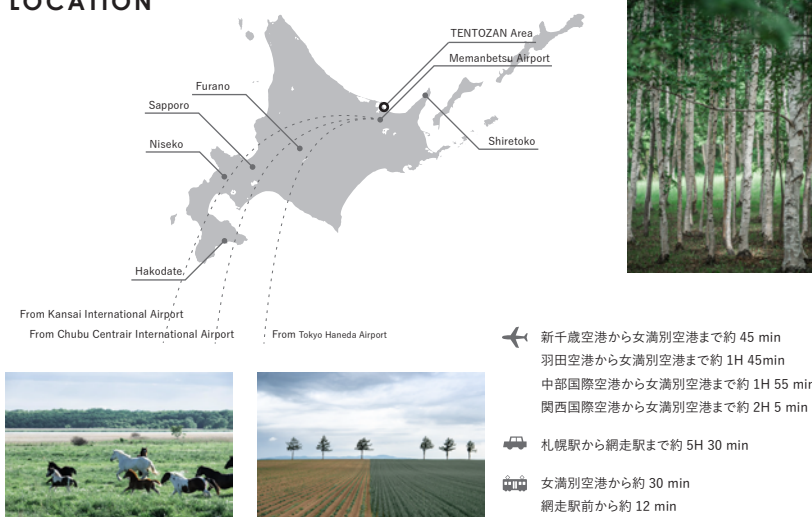


このプロジェクトは、北海道の雄大な景色を一望に望める天都山エリアで豊かな暮らしを楽しむ提案です。エリアは世界遺産である知床連邦が連なり、網走湖、オホーツク海の眺めなど、北海道においてもとりわけ特徴的なロケーションです。この豊かなランドスケープの中で、日常の喧騒から逃れて心地よい暮らしを実現するための居場所および村を作り出すプロジェクト。エリア内に性格の違う8つのVillaを計画し、土地を含めた販売を行います。

国内外でさまざまな建築賞を受賞している建築家・五十嵐淳により、土地の持つポテンシャルを最大限に活かして設計を行います。



LOCATION



ARCHITECT



五十嵐淳の作品は、北海道の風土や気候条件、風景との共生を前提としながらも、建築の普遍的な価値を問いつけている。それは建築単体の存在を超えて建築のはじまりの姿にまで思いを馳せながら、常に「人間の原初的な居場所」という「状態」を模索し続けている。北海道の環境を読み解きながらも豊かで独自の空間を生み出し、その思想や概念は、国内はもとより海外からも注目を集め、2005年には日本人として初めてBARBARA CAPPOCHIN ビエンナーレ国際建築賞グランプリの受賞、オスロ建築大学にて客員教授として教壇をとり、海外での講演会も多数。

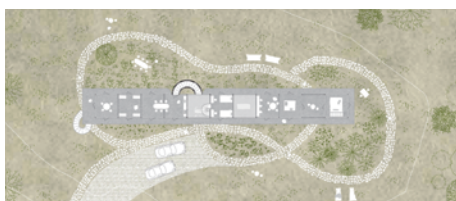
VILLA1



ワーケーションを可能にする拠点

静かな森の中の新たな拠点。新しい生活スタイルの提案です。家族で長期滞在しながら自然を楽しめる空間。リラックスしながら仕事もできる空間。友達やゲストを招いて最大10名が滞在可能な空間。都市を離れ仕事仲間と共有拠点にすることも可能な空間。企業で所有することで自然の中でのテレワークも可能な環境。未来への暮らし方・働き方へのメッセージが込められた新しい家の提案です。

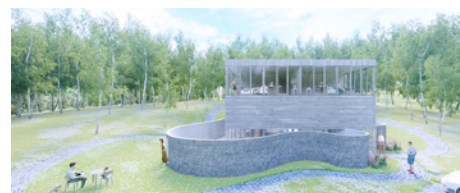
VILLA3



家族が職住一体で暮らせる森の家

静かな森の中の新たな拠点。暮らしと仕事が一となった生活スタイルの提案。1階にはリアルな生活で使われる、壁で囲われたプライバシー性の高い空間。2階はオフィスやショップ、アトリエなど多様に使えるガラスの透明感ある開放的な空間。4人家族が職住一体で自然を感じながら暮らせる家。そしてテラスの奥にはゲストルーム。多様な暮らしに対応した新しい提案です。

VILLA7



穏やかに森と繋がる暮らし

エリアの最も下に計画された、静かな森の中の新たな拠点。自然と暮らしの距離感を考えた生活スタイルの提案。1階には壁で囲われた庭とつながりながら生活が出来る天井の高い空間にリビング・ダイニング・キッチンが配置されている。2階に個室が4つあり主寝室、子供部屋2室、ゲストルームという使い方も可能でトイレ・バスルームも配置されています。4人家族で暮らすことも可能な上、共同で所有し2拠点目として使用することも可能な多様な暮らしに対応した新しい提案です。

